平成24年７月13日

各　位

会　社　名　株式会社エスイー
代　表　者　代表取締役社長　森元　峯夫
（JASDAQ・コード３４２３）
問合せ先
役職・氏名　常務取締役管理本部長　塚田　正春
電　　話　（０３－３３４０－５５００）

（訂正）「平成24年３月期　決算短信〔日本基準〕（連結）」の一部訂正について

平成24年５月11日に発表いたしました「平成24年３月期　決算短信〔日本基準〕（連結）」について一部訂正すべき事項がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。
なお、訂正箇所には下線を付して表示しております。

記

＜訂正箇所①＞
21ページ（(7)会計方針の変更）

【訂正前】
韓国の持分法適用会社である株式会社コリアエスイーは、従来、退職給付債務の計算を簡便法によっておりましたが、当連結会計年度より、原則法により計算する方法へ変更しております。
この変更は、韓国の上場企業に韓国採択国際会計基準の採用が義務付けられたことを契機に、退職給付債務の算定をより合理的な方法に見直しを行ったことによります。当該会計方針の変更は遡及適用され、前連結会計年度については遡及適用後の連結財務諸表となっております。この結果、遡及適用を行う前に比べて、前連結会計年度の連結貸借対照表は、投資有価証券が4,578千円減少、為替換算調整勘定が1,229千円増加、利益剰余金が5,807千円減少し、前連結会計年度の連結損益計算書は、営業外収益が5,807千円減少し、経常利益、税金等調整前当期純利益、少数株主損益調整前当期純利益、当期純利益がそれぞれ5,807千円減少しております。
前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書は、税金等調整前当期純利益が5,807千円減少し、持分法による投資損益が5,807千円減少しております。前連結会計年度の期首の純資産の帳簿価額に反映された会計方針の変更の累積的影響額により、連結株主資本等変動計算書の利益剰余金の遡及適用後の期首残高は13,293千円減少しております。

【訂正後】
韓国の持分法適用会社である株式会社コリアエスイーは、従来、退職給付債務の計算を簡便法によっておりましたが、当連結会計年度より、原則法により計算する方法へ変更しております。
この変更は、韓国の上場企業に韓国採択国際会計基準の採用が義務付けられたことを契機に、退職給付債務の算定をより合理的な方法に見直しを行ったことによります。当該会計方針の変更は遡及適用され、前連結会計年度については遡及適用後の連結財務諸表となっております。この結果、遡及適用を行う前に比べて、前連結会計年度の連結貸借対照表は、投資有価証券が17,871千円減少、為替換算調整勘定が1,229千円増加、利益剰余金が19,100千円減少し、前連結会計年度の連結損益計算書は、営業外収益が5,807千円減少し、経常利益、税金等調整前当期純利益、少数株主損益調整前当期純利益、当期純利益がそれぞれ5,807千円減少しております。
前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書は、税金等調整前当期純利益が5,807千円減少し、持分法による投資損益が5,807千円減少しております。前連結会計年度の期首の純資産の帳簿価額に反映された会計方針の変更の累積的影響額により、連結株主資本等変動計算書の利益剰余金の遡及適用後の期首残高は13,293千円減少しております。

＜訂正箇所②＞
22ページ　（（9）連結財務諸表に関する注記事項）
（連結貸借対照表関係）

【訂正前】
※１　非連結子会社及び関連会社に対するものは、次のとおりであります。

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当連結会計年度 （平成24年３月31日）
投資有価証券（株式）	510,417千円	517,029千円

【訂正後】
※１　非連結子会社及び関連会社に対するものは、次のとおりであります。

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当連結会計年度 （平成24年３月31日）
投資有価証券（株式）	492,546千円	517,029千円